

## 2024 年度「ELAP」 参加レポート

文学部 コミュニケーション学科 1 年

私は ELAP を通して、英会話力を向上させることを目標に参加しました。日本では文法や単語の暗記などインプットに多くの時間を割いており、スピーキングなどアウトプットをする機会が少ないため、コミュニケーションをとる際に、なかなか言葉を発することができません。それを解消するために留学を決意しました。自分の意見を持ち、恥ずかしがらず発言することが大切で、留学を通じてその力をつけることができました。ただ、会話の中で単語が思い浮かばない時もあり、語彙力はまだまだ身につける必要があると考えています。

現地では、授業を受ける前にプレイメントテストを受験し、教科書の内容のレベルを先生と話し合い、使う教材を決めました。内容自体はレベルの高いものではありませんでしたが、当然ながら全て英語でコミュニケーションを取り、数えきれない質問もされたため、リスニングとスピーキング力は以前よりも強化できたと思います。

授業の内容は、アメリカと日本との違いを先生と話し、共有したことが印象に残っています。アメリカの生活様式、学校生活、会話の常識など日本と異なる点を知ることができ、とても面白かったです。

アクティビティとしては、大学近くの Lake Michigan に何度か足を運びました。また、授業後にオタワビーチまで行き、日の入りまで Ultimate というフリスビーを使用する試合をしたり、バレーボールをしたりしました。プログラムが始まって間もなかったため、緊張していましたがスポーツを通して一気にメンバーと仲良くなることができました。

他にもたくさんのアクティビティがあり、その都度 Hope College の学生も多数参加してくれたため、現地の大学の友人が 10 人ほどできました。Chicago Trip ではシカゴ州と一味違う地域を訪れることができ、とても楽しかったです。そこでは ELAP に参加した他の大学の人のシカゴの友人と合流し、現地を案内してもらいました。シカゴピザがとても美味しかったです。

宿泊先の寮にはエアコンが設置されておらず、時々暑い日がありましたが、気候は夏でも 20℃前後だったため問題ありませんでした。寮には交流スペースもあり、同じ寮の人と卓球やビリヤードをして交流することができました。ホームステイではゲストルームのような部屋を用意していただきとても快適に過ごすことができました。ビーチ狩りや年に一度のとても大きなチャペルにも連れて行ってもらい現地の暮らしを体験することができました。三人兄弟の子供たちともカードゲームやボードゲームをしてたくさん笑いました。

以前、語学学校に留学へ行った時とは異なり、アメリカの大学を体験でき、楽しかったです。ELAP に参加する日本人が他に 3 人いたため、日本語で話す時もありましたが、積極的に英語を使うよう意識付けていました。Hope College の職員や生徒、Holland の街全体はとても優しさに溢れているためリラックスして過ごすことができました。

今回の留学を通して、もっと英語でコミュニケーションを取りたい、さらにはアメリカに住みたいとも思えたくらい充実した 3 週間でした！今まで以上に英語の勉強を取り組み、長期留学に向けて準備をしたいと思います。



以上